

鳥取大学 (鳥取県)

学内外での交流を通して、実践的な日本語力を身につけ、日本文化・地域文化について幅広く学びます。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

鳥取大学は、地域学部、医学部、工学部、農学部で構成されています。「知と実践の融合」を基本理念として、教育、研究及び社会貢献に取り組み、地域に根差し国際的に飛躍する大学として、多方面にわたって精力的な活動を行い、地域と世界の発展に寄与しています。また、文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」(2012年～2016年)に採択された実績があり、グローバル人材の育成に力を入れています。

全ての日本語授業には、常に数名の日本人学生がボランティア参加しています。また、留学生と日本人学生による国際交流チーム(交流の場の企画・運営を行う)もあり、日本人学生との交流の機会が多くあります。

* 学生数・教員数(2025年5月1日現在)

学部学生数: 5,248名

大学院生数: 1,060名

教員数: 793名

② 国際交流の実績

学術交流協定校・機関数: 103 (34の国・地域)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2025年: 留学生数 160人、日研生 4人

2024年: 留学生数 167人、日研生 4人

2023年: 留学生数 183人、日研生 5人

④ 地域の特徴

鳥取は、自然が豊かで静かな所で、勉学に取り組むのにとってもよい環境です。海や山があり、新鮮な食材(野菜・魚・肉)も豊富で、物価が安いので生活しやすい地域です。地元の人は皆、親切で温かいので、地域での交流の場にも参加しやすいです。また、大阪、京都などの有名な大都市には、電車やバスで3時間程度で行けます。



鳥取砂丘



大山(だいせん)

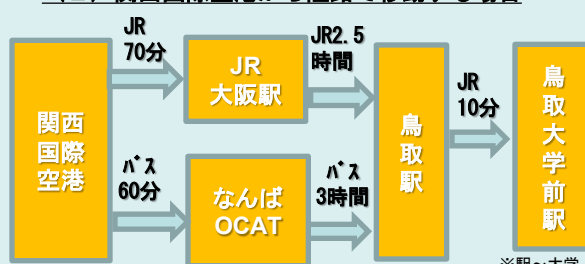
鳥取大学周辺へのアクセス方法

(※来日時に大学周辺の駅や空港からの出迎えサポートがあります)

(1) 東京から飛行機で到着する場合



(2) 関西国際空港から陸路で移動する場合



※駅～大学:
徒歩3分

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

科目選択の自由度が高く、研修生の希望により、「日本語」に重点を置いて学ぶことも「日本文化」に重点を置いて学ぶこともできます。地域の行事に参加できる機会が多く、地域社会をより深く理解することができます。

③ 受入定員

全体で5名(大使館推薦3～4名、大学推薦1～2名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・本国において、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者
- ・積極的に日本の文化・社会を理解し、自らの文化を発信しようとする姿勢を持つ者

⑤ 達成目標

- ・実践的な日本語力を習得すること
- ・興味のあるテーマについて、研究計画を進めその成果を発信できるようになること

⑥ 研修期間(在籍期間)

2026年10月上旬 ～ 2027年9月下旬
(2026年10月1日 ～ 2027年9月30日)

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月～2027年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日（2025年は9月24日～26日）

10月 開講式

新規留学生オリエンテーション

秋学期開始



1月 修了課題テーマ決定

2月 秋学期終了

4月 春学期開始

8月 修了発表会、修了課題の提出

春学期修了

9月 閉講式

9月下旬：帰国（2025年は9月18日～22日）

年間を通して、小・中・高校での交流会、地域の国際交流団体や学内の国際交流サークルのイベントが随時あります。

小学校での交流会



高校での交流会



地域交流イベント



⑨ コースの修了要件

⑩ 2) に記載の開設科目から合計14科目以上を履修し、かつ修了研究として日本語・日本文化研修留学生修了課題のレポートを完成させた学生に対し、修了証を授与します。

なお、希望する学生には、全学共通科目及び学部専門科目について単位を付与しますので、在籍大学との単位互換が可能です。単位が付与されない科目については成績証明書を発行します。



⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特色

全学共通科目や学部専門科目、国際交流センターで開設する科目の中から、研修生の興味関心に合わせて自由に科目を選択することができます。

2) 研修・コース開設科目

<全学共通科目>

・日本語実践I、II

大学生活で必要となるアカデミックスキルを、実践を通して身につけます。

・日本語の表現技法I、II

学習者同士で話し合いながら、伝えたいことを口頭や文章でより適切に表現する方法を学びます。

・日本文化事情I、II

・日本社会事情I、II

幅広い観点からの講義や、自分たちで設定したテーマについて調査を行うことによって、日本の事情を深く理解することができます。

<目的別日本語コース>

・レポート演習I、II

様々なテーマについて、自分の意見を口頭や文章で発表します。後半は各自のテーマで研究を進め、修了発表を行い、研究レポートを日本語で作成します。

・ケースで学ぶ異文化コミュニケーションI、II

異文化接触の事例を題材としてケース型教材を用いて、異文化理解と日本語コミュニケーション力の向上を目指します。

<総合日本語コース>

ブレースメントテストでレベルを判断し、それぞれのレベルに合わせて、総合的な日本語能力を身につけます。

<学部専門科目>

指導教員と相談し、地域学部の授業の中から、学生に合ったものを選択します。

※上記のうち、レポート演習I、IIは必須科目です。修了研究のレポートについて学びます。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等に参加出来る科目及びその具体的な内容

- ・日本文化事情I、II (前述2) の全学共通科目)
- ・日本社会事情I、II (前述2) の全学共通科目)

いずれも、講義・ディスカッションと、見学や交流を有機的に結びつけて授業を行います。

地域の餅つき



スキー研修



4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容
日本語授業の全てに、日本人学生がサポート参加しています。日本語・日本事情科目以外の全学共通科目と学部専門科目は、全て共修です。全学共通科目「グローバルイシュー」・「世界の中の日本」・「異文化コミュニケーション」では、地球規模の課題や、世界の中で日本がどのような位置・役割にあるか、異文化理解の方法などを、日本人学生と共に英語で学びます。

⑪ 指導体制

学生の興味のある分野に合わせて、地域学部の教員が指導教員になります。また、国際交流センターでも研修生それぞれに担当教員がつき、必要に応じて生活・教育支援を行います。

■宿 舎

名 称： 鳥取大学国際交流会館
所在地： 〒680-0947 鳥取市湖山町西4-110
電 話： 0857-28-4808
ホームページ：
<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/Students-housing-dormitory>

部屋数： 1人部屋50室、2人部屋6室、3人部屋3室

居室設備： ベッド、机、椅子、書棚、タンス、シューズボックス、冷蔵庫、電気スタンド、電気ポット、エアコン、煙探知機、Wi-Fi、懐中電灯、トイレ
共同設備： キッチン、シャワー室、洗濯室、ラウンジ、和室があります。

近隣環境： コンビニエンスストア、スーパーマーケットまで徒歩15分



■修了生へのフォローアップ

修了後は、メールやSNSなどを活用し、その後のキャリアパス（進学・就職）について、相談に応じます。



■問合せ先

<担当部署>
鳥取大学学生部国際交流課
住所：〒680-8550
鳥取市湖山町南4丁目101
TEL：+81-857-31-5056（直通）
FAX：+81-857-31-6065
E-mail：kokuko-gaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学地域学部教務係
住所：〒680-8551
鳥取市湖山町南4丁目101
TEL：+81-857-31-5077（直通）
FAX：+81-857-31-5076
E-mail：reg-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

<ウェブサイト>
鳥取大学国際交流ホームページ
<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>

鳥取大学ホームページ
<http://www.tottori-u.ac.jp/>